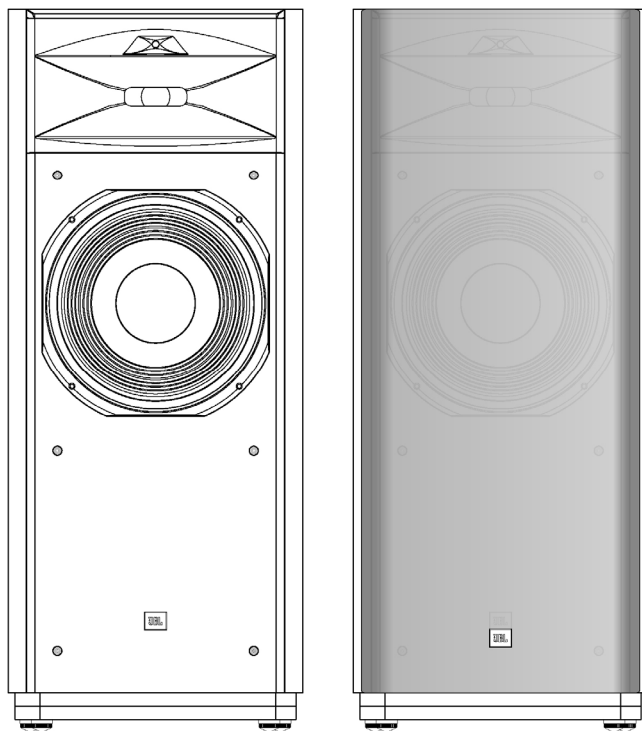




14"-3Way Floorstanding Speaker System

# S4600

## 取扱い説明書



この度は JBL S4600 スピーカーシステムをご購入頂きまして誠にありがとうございます。  
S4600 は高感度なホーンユニットを搭載した、明るく伸び伸びとしたサウンドが特徴のスピーカーシステムです。  
バイラジアル・ホーンを用いた JBL 独自の指向性コントロール技術により、包み込むような音場空間とホーン型  
ならではの明確な音像定位を実現しています。また、充実した低音と高感度ホーンユニットの厚みのあるサウン  
ドがあらゆる音楽を臨場感豊かに再生します。  
本製品をより良く理解していただき、正しくお使いいただくために、ご使用前にこの説明書を最後までお読みく  
ださい。

## 1：開梱にあたって

外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じます。万一損傷や故障が認められた場合には、直ちにお買い上げ店にご連絡ください。

製品の梱包には、以下の付属品が納められていますのでご確認ください。

- |           |               |
|-----------|---------------|
| ・スピーカーグリル | : 1本          |
| ・スパイク     | : 4本(本体に装着済み) |
| ・スパイク受け   | : 4個          |

カートンボックスに保証書が添付されていますので、内容をご確認の上、大切に保管してください。オリジナル・カートンボックスは、緩衝材等を含め開梱後もそのままお手元に保管くださるようお勧めします。修理などのため本体を輸送されるような場合、オリジナル・カートンボックス以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じて、責任を負いかねますのでご注意ください。

## 2：保証について

保証は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、保証書をよくご覧下さい。過った使用に起因した故障などに伴うアフターサービスは、保証期間の有無にかかわらず有償となります。また、送料はお客様負担となりますのでご了承下さい。

## 3：設置について

スピーカーは、発熱量の多いアンプの近くや、湿気や埃の多い場所、直射日光の当たる所などを避け、固いしっかりした床や台の上に設置してください。

- 本機には、磁力によるテレビ画面への影響を抑える防磁構設計が施されていませんので、スピーカーがCRTブラウン管式テレビに近接している場合、画面に色むらが生じる場合があります。このような場合には、スピーカーをテレビから少し離してご使用ください。なお、液晶テレビ、プラズマテレビなど、CRTブラウン管方式でないテレビの場合は、磁気による影響はありません。
- また、本機の内部回路素子がテレビから放射される高周波磁気に反応し、ノイズや歪みを発生する場合があります。このような場合も、スピーカーをテレビから少し離してご使用ください。
- 本体背面のポート(低域増強用パイプダクト)を障害物でふさがないようにご注意ください。また、背面の壁との間に最低10cm以上の空間を設けてください。
- 本機を設置、移動する際は、必ず2名以上で行ってください。
- スピーカーシステムは耐久消費財です。温度、湿度、紫外線などの影響で寿命を縮める恐れがありますので、照明器具の強い光りや直射日光を避け、エアコンの吹き出し口やストーブなどの近くなど、高温になる場所を避けてご使用ください。また、直射日光の当たる窓際への設置はご遠慮ください。



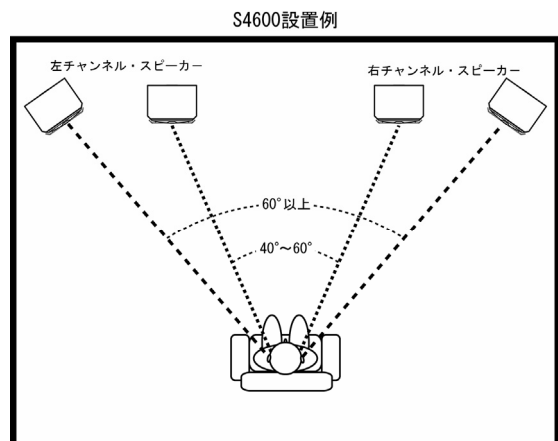
### 注意

本機には、床面との音響的干渉を最小化するため、底面にスパイクが装着されています。開梱、設置の際に床を傷付ける恐れがありますのでご注意ください。また、スパイクで足や手を挟まないようご注意ください。扱いに不安がある場合は、スパイクを取り外してから作業されることをお勧めします。

### 《 セッティング 》

ステレオ効果を最良にするために、スピーカーはリスニング位置の前方に左右対称に配置してください。

- 左右のスピーカー間の距離は、左右のスピーカーとリスニング位置との位置関係から生まれる角度で決まります(右図参照)。左右のスピーカーの間隔が広い程、広がり感のある音場が得られますが、ボーカルなど中央定位の音像が弱まります。間隔が広過ぎる場合(約60°以上)は、スピーカーをやや内側、リスナー方向に向けることで、しっかりしたセンター定位を得ることができます。
- スピーカーの音像の中心は、高音用ホーンユニットの高さにあります。このホーン部の高さがリスニング位置における耳の高さに近い位置になるよう設置するのが基本となります。
- 設置場所の周りの環境は、低域の音質に大きく影響します。



スピーカーを背面や左右の壁の近くに設置すると、低音が増強され豊かになりますが、近づけ過ぎると切れの無い鈍った低音になる場合があります。反対に、壁から離して設置すると低音の量感は減少しますが、すっきりした切れのある低音になります。さまざまな音楽ソースを演奏しながら、最適なポイントを見つけてください。

#### 《 スパイクについて 》

本製品には、床面との音響的干渉を最小化するため、底面にスパイクが装着されています。設置場所が決まりましたら、床面との間にガタが生じないようにスパイクの長さを調整してください。床面に傷を付ける恐れがある場合には、付属のスパイク受け皿をスパイクの下に敷いてください。



### 注意

スパイク先端が鋭利なため、設置の際に床を傷付ける恐れがありますのでご注意ください。また、スパイクで足や手を挟まないようご注意ください。

## 4： 接 続 に つ い て

本機の入力端子は本体背面の下部にあり、赤い端子がプラス(+)、黒い端子がマイナス(-)に統一されています。良質なスピーカーケーブルを使用して、本機の入力端子と、使用するパワーアンプのスピーカー用出力端子とを接続してください。

本機に装備された2組の入力端子は、バイワイヤリング接続に対応します。以下の説明に従いそれぞれに合った接続方法を行ってください。

### I. 1組のスピーカーケーブルによるシングルワイヤー接続

付属の金メッキ・ショートバーを取り付けたまま、上下どちらかの端子に接続します。高域用/低域用どちらの端子に接続するかで微妙に音質が異なる場合があります。お試しの上お好みの端子をご利用ください。

### II. 2組のスピーカーケーブルを使用したバイワイヤー接続

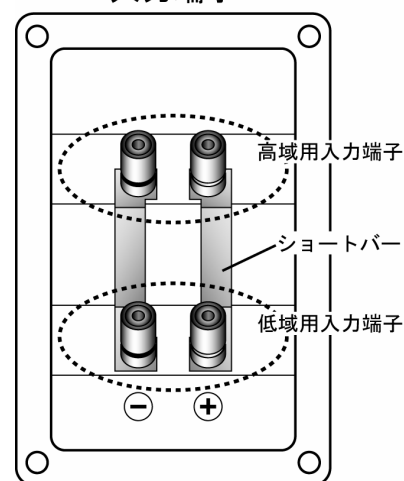
付属の金メッキ・ショートバーを取り外し、高域用/低域用ケーブルをそれぞれの端子に接続します。2組のスピーカーケーブルには、同じ長さで同一仕様の物をご使用になることをお勧めします。

### III. 内蔵ネットワークを使用し2組のパワーアンプを用いたバイアンプ駆動

付属の金メッキ・ショートバーを取り外し、スピーカーケーブルを使用して高域用/低域用アンプをそれぞれの端子に接続します。ご使用になる2組のパワーアンプは同一である必要はありませんが、出力性能が近いものでゲイン（アンプの増幅率、利得）が同じもの、またはあらかじめ入力調整により同一ゲインに設定したものをご使用ください。

- 金メッキ・ショートバーを使用する際は、スリーブと導線がそれぞれ確実に端子に締め付けられていることをご確認ください。また、ケーブルの導線が他のショートバーに触れてショートしないよう、十分ご注意ください。
- 端子にはバナナ端子兼用の締め付け式スピーカーターミナルを使用しています。ターミナルのネジをゆるめ、先端の皮膜をむいたケーブルを端子の穴に差し込み、端子を締め付けて固定してください。ケーブルの芯線が太く端子の穴に入らない時は、芯線を端子の金属部に巻き付け、端子をしっかりと締め付けてください。
- 安全、確実に接続するため、ケーブル末端にはY型端子またはバナナプラグの使用をお勧めします。

入力端子



## 5： 保 守

お手入れの際は、乾いた布で表面を掃くようにして埃を取り除いてください。汚れがひどい時は、湿らせた布などで表面を拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどを含む揮発性の薬品で拭いたり、近くで殺虫剤などを散布したりしないでください。

### [注意]

スピーカーのユニット表面に埃が着いた時は、柔らかく乾いた筆や刷毛などを利用して丁寧に埃を払ってください。濡れた雑巾などは絶対に使用しないでください。

## 6 : 仕様

形式	: 350mm 径 3 ウェイ・フロアスタンディング・スピーカー
使用ユニット	: LF 350mm 径アクアプラス・コーティング ピュアパルプコーン・ウーファー (LE14H-4) HF 50mm 径アクアプラス・コーティング・ ピュアチタンダイアフラム コンプレッションドライバー (175Nd-3) +38mm 径スロート・バイラジアルホーン UHF 19mm 径ピュアチタンダイアフラム コンプレッションドライバー (138Nd) +10mm 径スロート・バイラジアルホーン
ホーン指向特性	: HF 水平 100° × 垂直 40° UHF 水平 60° × 垂直 40°
許容入力	: 300W (RMS)
周波数特性	: 35Hz~40kHz (-6dB)
インピーダンス	: 8Ω
出力音圧レベル	: 91dB (2.83V/1m)
クロスオーバー周波数	: 800Hz (-24dB/oct. LP; -12dB/oct. HP) 8kHz (-12dB/oct. LP; -24dB/oct. HP)
寸法	: 全幅 420mm 全高 1,020mm (スパイク含まず) / 1,033mm (スパイク含む) 奥行 320mm (グリル含まず) / 324mm (グリル含む)
重量	: 53.0kg

※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

## harman international

ハーマン・インターナショナル 株式会社  
 ホームページ <http://www.harman-japan.co.jp>

製品に関するお問い合わせは、下記マーケティング部まで、  
 修理に関するお問い合わせは、東京サービスセンターまでご連絡ください。

本社・営業部	〒110-0005 東京都台東区上野 5-7-7 公德堂ビル 4F	TEL 03-3836-5641 (代) FAX 03-3835-3084
マーケティング部	〒110-0005 東京都台東区上野 5-7-7 公德堂ビル 2F	TEL 03-3836-5660 (代) FAX 03-5688-0024
東京サービスセンター	〒135-0033 東京都江東区深川 1-6-29 結城運輸倉庫(株)内	TEL 03-5639-3011 (代) FAX 03-5639-3044
大阪営業所	〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-12-15 双葉ビル 602 号	TEL 06-6301-1396 (代) FAX 06-6307-2861
福岡営業所	〒816-084 福岡県春日市上白水 4-40	TEL 092-573-2023 (代) FAX 092-583-6050